

「第 49 回優秀環境装置表彰」

応募申請に係る各種提出書類の作成要領

一般社団法人 日本産業機械工業会

※ 各種提出書類は、日本産業機械工業会
ウェブサイト (<https://www.jsim.or.jp>) より
ダウンロードした様式を使用してください。

【お問合せ先】

一般社団法人 日本産業機械工業会

環境装置部（担当：羽富、塚原、大川内）

TEL：03-3434-6820 FAX：03-3434-4767

E-mail：kankyo49hyosho@jsim.or.jp

提出書類

- * 各提出書類において、ご説明・ご記入をお願いしている項目・内容に漏れがあった場合、厳正な評価（審査）ができかねます。ご提出前に必ず、ご確認くださいませようご協力のほどお願い申し上げます。
- * 提出資料は原則、日本語表記をお願いいたします（商品名等を除く）。なお、日本語以外の言語で書かれた資料には日本語訳を添付してください。
- * 応募申請書の「装置の説明」（様式４）をもとに、本表彰事業の報告書原稿案を作成いたします。原稿案は、受賞内定時に内容ご確認のご連絡を申し上げます。

■ 事前登録

I. 「事前登録書」（＊様式１）

※ E-mail、または FAX により提出してください。

■ 応募申請

I. 「応募申請書」（＊様式２）

II. 「装置の概要」（＊様式３）

III. 「装置の説明」（＊様式４）

IV. 添付資料

- i) カタログ、仕様書、フロー図、写真等
- ii) 第三者機関（計量証明事務所、公設の試験研究機関等）が発行した応募申請装置の性能を客観的に証明する証明書（ユーザが取得したもので可）が有る場合は添付

※ 「**I～IV**」をファイルに綴じ（冊子）、**1部**ご提出ください。

（ファイルの表紙等、作成要領は 11 頁を参照してください。）

※ 電子ファイルをディスク（CD、DVD など）に保存し、**1枚**ご提出ください。

- ・「応募申請書」（＊様式２）…………… PDF
- ・「装置の概要」（＊様式３）…………… Microsoft Word
- ・「装置の説明」（＊様式４）…………… Microsoft Word
- ・添付資料（カタログ等）…………… PDF
- ・添付資料（第三者機関発行の証明書）…………… PDF

【 事前登録書及び応募申請書の提出先 】

一般社団法人 日本産業機械工業会 「優秀環境装置審査委員会」事務局 宛
〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館 405

TEL : 03-3434-6820 FAX : 03-3434-4767

E-mail : kankyo49hyosho@jsim.or.jp

【 各種提出書類の作成要領 】

1. 「事前登録書」◀様式1▶

「第49回優秀環境装置表彰」 事前登録書

年 月 日

| | | | |
|---------------------|---|--|---|
| ① 会社・団体名 | | | |
| ② 担当者 | 氏名 | | 部署 ・役職 |
| | 連絡先 <small>(住所 他)</small> | 〒 TEL: 携帯(任意): E-mail: 〈注1〉 | |
| ③ 応募申請装置名 | 〈注2〉 | | |
| ④ 分野 | <input type="checkbox"/> ① 大気汚染防止装置 <input type="checkbox"/> ⑥ 再資源化装置 <input type="checkbox"/> ② 水質汚濁防止装置 <input type="checkbox"/> ⑦ 温室効果ガス分離・回収・処理装置 <input type="checkbox"/> ③ 廃棄物処理装置 <input type="checkbox"/> ⑧ 上記技術に付属したエネルギー・資源利活用装置 <input type="checkbox"/> ④ 騒音・振動防止装置 <input type="checkbox"/> ⑨ その他環境負荷低減に資する装置 <input type="checkbox"/> ⑤ 土壌・地下水汚染修復装置 〈注3〉 | | |
| ⑤ 装置概要 | 〈注4〉 | | |
| ⑥ 共同開発 | <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 〈注5〉 | ⑦ 共同申請 ※⑥共同開発「有」の場合 | <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 〈注6〉 |
| ⑧ 他者からの技術導入等 | <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 〈注7〉 | | |
| ⑨ 表彰の実績 | 〈注8〉 | | |
| ⑩ 募集を知った媒体 | 〈注9〉 | | |

* ご登録前にもう一度ご確認ください！ **〈注10〉**

「ご申請装置は販売開始後 10 年以内で実機として 6 ヶ月以上稼働していますか？」 ⇒ 条件を満たしている

【 ご提出先 】

一般社団法人 日本産業機械工業会 環境装置部(担当:大川内)宛て

FAX: 03-3434-4767 (TEL: 03-3434-6820)

E-mail: kankyo49hyosho@jsim.or.jp

2022年10月28日（金）までに、E-mail、またはFAXにより事務局へ提出してください。

〈注1〉

- ・ 事前登録書を受付後、E-mailにより事務局から「登録済み」の連絡をします。

〈注2〉

- ・ 一般に理解できる装置名を記入してください。
- ・ 装置名は、**最大30文字**（商品名を含む）としてください。
- ・ また、**商品名を併記する場合は、丸括弧で表示**してください。

〈注3〉

- ・ 該当する分野の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。

〈注4〉

- ・ 応募申請装置は何をするための装置（システム）であるか、第三者が理解し易いように400字程度で簡潔にまとめてください。

〈注5〉

- ・ 該当する項目（有・無）の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。
- ・ **実証試験のための設備等を提供するのみは開発者には該当しません。**

〈注6〉

- ・ 該当する項目（有・無）の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。
- ・ 共同開発を行った場合は、共同で応募申請することができます。
- ・ なお、**単独で応募申請する場合は、必ず共同開発者の同意を得てください。またその場合、応募申請された同一の装置を、他の開発者が次回以降の本「優秀環境装置表彰」において応募申請することはできません。**

〈注7〉

- ・ 該当する項目（有・無）の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。

〈注8〉

- ・ 当該装置が本「優秀環境装置表彰」以外で表彰を受けた実績が有る場合は、その主催者名・事業名・受賞年度・賞の種類等を記入してください。

〈注9〉

- ・ 今回の募集を知った媒体について記入してください。

〈注10〉

- ・ 申請装置が条件を満たしているか再度ご確認の上、チェックし「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。

2. 「応募申請書」《様式2》

「第49回優秀環境装置表彰」応募申請書

年 月 日

一般社団法人 日本産業機械工業会 御中

下記により応募申請いたします

| | | |
|---------------------------------------|---|--|
| ① 会社（団体）名 | 印 <注11> | |
| ② 本社所在地 | 〒 | |
| ③ 資本金 ※中小企業の場合 | 百万円 <注12> ※ 大企業（親会社）からの出資が資本金の1/2以上を占めている、または 大企業（親会社）からの役員出向が役員構成の1/2以上を占めている。 | <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 |
| ④ 従業員数 | 人 | |
| ⑤ 代表者 役職名・ 氏名（ふりがな） | <注13> () | 印 <注14> |
| ⑥ 連絡者 部署・ 役職名・氏名・ 住所・TEL・E-mail | 〒 | TEL : 携帯（任意）： E-mail : |
| ⑦ 応募申請装置名 | <注15> | |
| ⑧ 装置の概要 | 別添1のとおり <注16> | |
| ⑨ 装置の説明 | 別添2のとおり <注17> | |
| ⑩ 分野の別 | <input type="checkbox"/> ① 大気汚染防止装置 <input type="checkbox"/> ② 水質汚濁防止装置 <input type="checkbox"/> ③ 廃棄物処理装置 <input type="checkbox"/> ④ 騒音・振動防止装置 <input type="checkbox"/> ⑤ 土壌・地下水汚染修復装置 | <input type="checkbox"/> ⑥ 再資源化装置 <input type="checkbox"/> ⑦ 温室効果ガス分離・回収・処理装置 <input type="checkbox"/> ⑧ 上記技術に付属したエネルギー・資源利活用装置 <input type="checkbox"/> ⑨ その他環境負荷低減に資する装置 <div style="text-align: right;"><注18></div> |
| ⑪ 共同開発の有無 | <input type="checkbox"/> 有 [] ・ <input type="checkbox"/> 無 | <注19> |
| ⑫ 共同申請の有無 | <input type="checkbox"/> 有 [] ・ <input type="checkbox"/> 無 | <注20> |
| ⑬ 技術導入の有無 | <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 | <注21> |

- i) 2022年11月18日(金)までに事務局へ提出してください(※必着)。
- ii) 2者以上の共同で応募申請する場合は、応募申請者毎に作成してください。

〈注 11〉

- ・ **社印**を押印してください。

〈注 12〉

- ・ 中小企業の場合は、※印の条件について、該当の有無を記入し[「□」を黒く塗りつぶし(■)]てください。

〈注 13〉

- ・ 代表者の欄には「会社(団体)」の代表者について記入してください。

〈注 14〉

- ・ **代表者印**を押印してください。

〈注 15〉

- ・ 一般に理解できる装置名を記入してください。
- ・ 装置名は、**最大 30 文字**(商品名を含む)としてください。
- ・ また、**商品名を併記する場合は、丸括弧で表示**してください。

〈注 16〉

- ・ «様式 3»により作成してください。(5～6頁参照)

〈注 17〉

- ・ «様式 4»により作成してください。(7～10頁参照)

〈注 18〉

- ・ 該当する分野の「□」を黒く塗りつぶし(■)てください。

〈注 19〉

- ・ 共同開発者が「有」の場合は、相手企業名・団体名・個人名等を括弧内に記入してください。
- ・ なお、**実証試験のための設備等を提供するのみは開発者には該当しません。**

〈注 20〉

- ・ 共同開発を行った場合は、共同で応募申請することができます。
- ・ 共同で応募申請する場合は、相手企業名・団体名・個人名等を括弧内に記入してください。
- ・ なお、**単独で応募申請する場合は、必ず共同開発者の同意を得てください。またその場合、応募申請された同一の装置を、他の開発者が次回以降の本「優秀環境装置表彰」において応募申請することはできません。**

〈注 21〉

- ・ 応募申請装置の開発等に関し、**他者からの技術導入、特許の買取・譲渡等**がある場合は必ず記入してください。
- ・ 該当する項目(有・無)の「□」を黒く塗りつぶし(■)てください。

(別添1)

装置の概要 **〈注22〉**

記載一例)

本装置は、〇〇〇施設等で発生する×××を△△△処理する装置である。

〈注23〉

⋮

本技術のポイントは、〇〇〇、△△△であり、これにより従来装置の課題であった□□□、×××を解決した。

〈注24〉

なお、特許2件を取得済み、1件を出願中である。

⋮

従来装置と比較し、×××除去率が〇%向上した。

また、メンテナンスは〇回/年、□□□するだけで良く維持管理が容易である。

⋮

装置の小型化（従来比〇/〇）により省スペース化を達成している。

また、従来の×××法と比較して、電力使用量〇%削減、薬品使用量〇%削減を達成し、維持管理費を年間約〇%削減することが可能となった。

⋮

〇〇〇施設を中心として既に〇件の納入実績を有するが、さらに□□□、△△△、×××等の産業分野においても普及が見込まれる。

また、△△△であることから、今後は海外市場への展開も期待される。

2022年11月18日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。

〈注 22〉

- ・ 常体（だ・である調）で記述してください。
- ・ A 4 判で 1 頁程度に収めてください。

〈注 23〉

- ・ 応募申請装置は何をするための装置（システム）であるのか、第三者が理解し易いように、簡潔に説明してください。
- ・ なお、「装置の説明」◀様式 4 ▶において、その詳細を説明してください。

〈注 24〉

- ・ 従来装置や類似装置と比較して特に優れている点について「独創性」「性能」「経済性」「将来性」の観点から、ポイントを簡潔に、また定量的に説明してください。
- ・ 比較対象の従来装置及び類似装置は原則、市場にある（＝他社製）、申請装置と“同じ方式”の装置としてください。同じ方式が無い場合は、従来主流であった方式と比較してください。
- ・ なお、「装置の説明」◀様式 4 ▶において、その詳細を説明してください。

ご申請装置を定量的ご説明により P R してください！

(別添2)

装置の説明 **〈注25〉**

1. 装置の詳細説明 **〈注26〉**

2. 開発経緯

(1) 開発経緯 **〈注27〉**

記載一例)

開発の趣旨……

開発の目標……

| | |
|---------|----------|
| 〇〇年～〇〇年 | △△△調査開始 |
| 〇〇年～〇〇年 | □□□技術の開発 |
| 〇〇年～〇〇年 | 実証機による実験 |
| 〇〇年 | 第1号機納入 |

(2) 共同開発 **〈注28〉**

記載一例)

本装置は、□□□株式会社と〇〇〇株式会社が共同で開発を行った。

それぞれが担当した開発の内容は次のとおりである。

- ・ □□□株式会社 △△△調査、〇〇〇評価、×××解析
- ・ 〇〇〇株式会社 システム構築、実証運転

(3) 技術導入 **〈注29〉**

記載一例)

〇〇年、×××株式会社より、□□□に関する技術導入を行った。

その後、当社において、〇〇〇を△△△し、また、□□□を×××する等の改良を行った。これらの技術改良により、〇〇〇を達成するに至った。

3. 独創性 **〈注30〉**

4. 特許の有無 **〈注31〉**

記載一例)

次のとおり、特許〇件を取得済み、〇件を出願中である。

- ・ 出願番号：特願〇〇〇 / 名称：□□□方法
- ・ 公開番号：特開〇〇〇 / 名称：△△△装置
- ・ 特許番号：第〇〇〇号 / 名称：〇〇〇方法

5. 性能 **〈注32〉**

2022年11月18日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。

〈注 25〉

- ・ 従来装置や類似装置との比較等により、具体的、かつ定量的に説明してください。
- ・ 比較対象の従来装置及び類似装置は原則、市場にある（＝他社製）、申請装置と“同じ方式”の装置としてください。同じ方式が無い場合は、従来主流であった方式と比較してください。
- ・ 常体（だ・である調）で記述してください。
- ・ A4判で10～15頁程度に収めてください。

〈注 26〉

- ・ 装置の構造、原理、処理フロー等を写真、図、表等を用いて第三者が理解し易いように説明してください。

〈注 27〉

- ・ 開発の趣旨、目標、経緯等について説明してください。
- ・ なお、開発経緯は、その年と内容を時系列的にまとめてください。

〈注 28〉

- ・ 共同開発（共同申請の有無にかかわらず）の場合は、その旨を記述し、それぞれが担当した開発の内容（役割分担）について明確に説明してください。
- ・ なお、共同開発が無い場合は「無し」と記載してください。
- ・ 実証試験のための設備等を提供するのみは開発者には該当しません。

〈注 29〉

- ・ 他者からの技術導入、特許買取・譲渡が有る場合は、その旨を記述し、技術導入後における改善・改良点について明確に説明してください。
- ・ なお、技術導入、特許買取・譲渡が無い場合は「無し」と記載してください。

〈注 30〉

- ・ 従来装置や類似装置との比較等により、新規の技術や機能等の技術的独創性について説明してください。
- ・ 開発における新たな発想やコンセプト等があれば説明してください。

〈注 31〉

- ・ 応募申請装置に関わる特許の取得、出願中、予定等について記述してください。

〈注 32〉

- ・ 従来装置や類似装置との比較等により処理性能について具体的かつ定量的に説明してください。
- ・ 性能を客観的に証明する証明書が有る場合は添付してください（※添付資料）。
- ・ 併せて、耐久性・安全性、運転・操作性、維持管理性、他の環境因子等への相乗効果等について説明してください。

ご申請装置を定量的ご説明によりPRしてください！

(別添2)

6. 経済性

記載一例)

〈注 33〉

従来装置と比較すると□□□であるため、装置の小型化(従来比○/○)により設置費用を30%削減でき……

対比表記載一例)

| | 従来装置 | 申請装置 | |
|----------|------|------|--|
| イニシャルコスト | 100 | 73 | |
| 装置費用 | 100 | 80 | |
| 設置費用 | 100 | 70 | |
| ランニングコスト | 100 | 70 | |
| 電気代 | — | — | |
| 消費電力 | 100 | 90 | |
| 売電収益 | 100 | 120 | |
| ガス代 | — | — | |
| 薬品代 | 100 | 110 | |
| メンテナンス費用 | 100 | 50 | |

イニシャルコスト増加の場合の記載一例)

年間ランニングコスト○%削減を達成したことにより、○年で回収できる。

7. 将来性

〈注 34〉

8. 納入実績

(1) 第1号機

- ① 装置の仕様
- ② 装置の納入先
- ③ 納入時期
- ④ 稼働状況(稼働時間を含む)
- ⑤ トラブル発生の有無

〈注 35〉

(2) 納入実績

以下のとおり、○○年に第1号機を納入後、計○件○基(台)を納入。

〈注 36〉

記載一例)

| No. | 納入先 | 規模 | 数量 | 納入年月 |
|-----|-----|----|----|------|
| | | | | |
| | | | | |

9. その他

〈注 37〉

2022年11月18日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。

〈注 33〉

- ・ 従来装置や類似装置との比較等により、経済性について説明してください。
- ・ なお、比較の対象とする装置がどのような装置であるか、説明してください。
- ・ イニシャルコスト、ランニングコスト等の総合的かつ長期的な経済性評価のために必要な事項を具体的、かつ定量的に記述してください（※従来比〇%等の記述でも可）。
- ・ 省エネルギー、省資源、省スペース、省人化等の効果について説明してください。
- ・ また、売電収益、有価物売却益等が見込まれる場合は説明してください。
- ・ 併せて、“記載一例”のような対比表を作成してください。

〈注 34〉

- ・ 申請装置に関する現在の市場規模と今後の市場動向等から普及の可能性について説明してください。
- ・ 従来装置や類似装置との代替、他分野や海外への適用の可能性等について説明してください。

〈注 35〉

- ・ 第1号機の詳細（①～⑤）について説明してください。
- ・ トラブル発生が有る場合は、原因と対策、その後の状況等について説明してください。

〈注 36〉

- ・ 納入実績表を記載してください。
- ・ 製品名、スペック、納入先（ユーザー名）、納入年月等を一覧表にまとめてください。
- ・ 納入先（ユーザー名）の固有名詞を記載することが難しい場合は伏字で差し支えありません。その場合は、納入先の分野（食品、石油化学、地方自治体など）が分かるようにしてください。
- ・ なお、納入件数及び納入台数の合計値を記載してください。

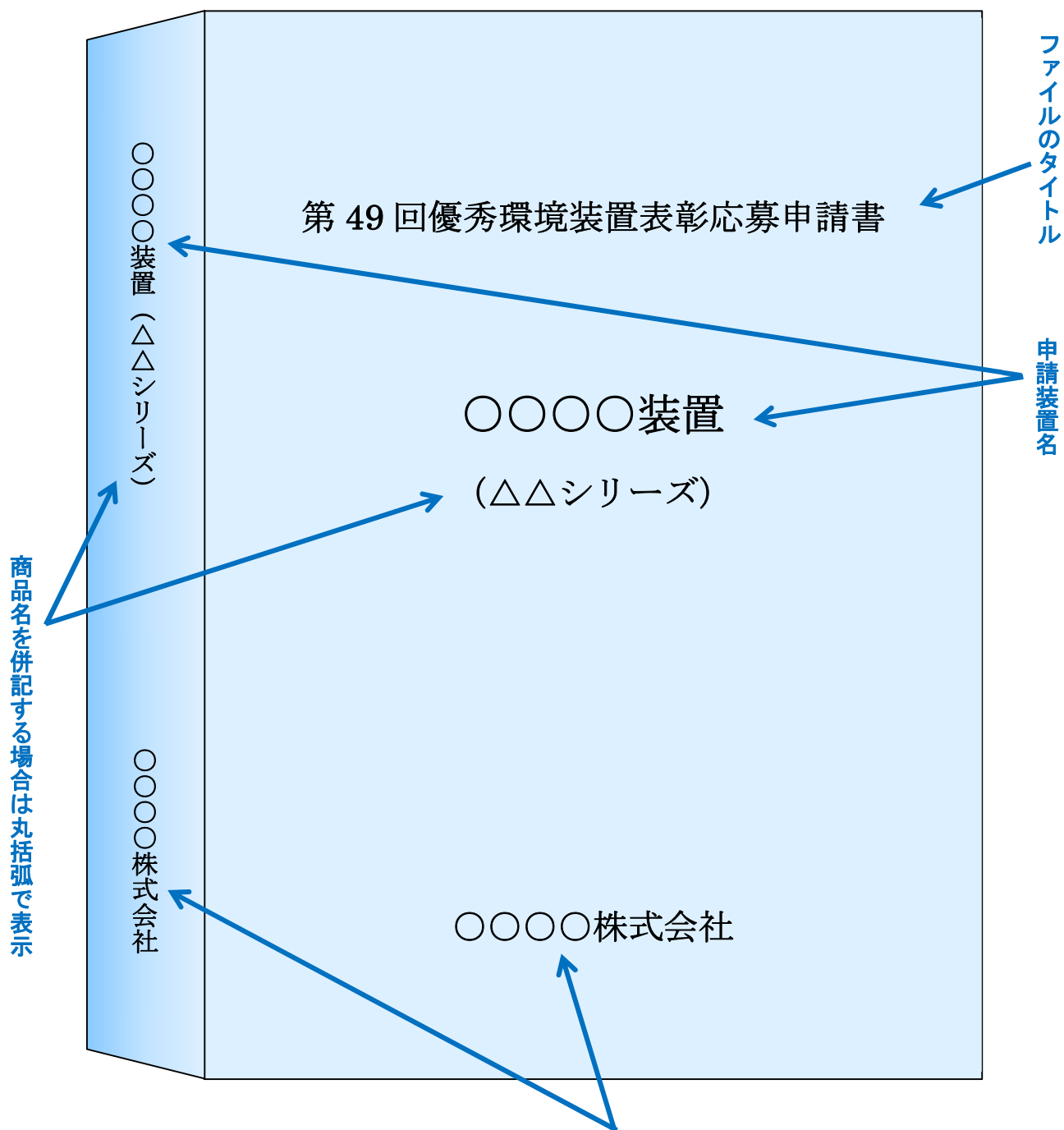
〈注 37〉

- ・ その他、参考となる事項があれば記述してください。
- ・ 特記事項が無い場合は、本項目「9. その他」は削除して差し支えありません。

ご申請装置を定量的ご説明によりPRしてください！

《ファイルの作成要領》

※ 市販のフラットファイル等をご使用の上、1部（1冊）ご作成ください。



申請者名（※2者以上の共同で応募申請する場合は全ての申請者名を記載してください）